

2017年度決算の概要

※以下文面における金額は「万円単位」に端数調整してあります。

(1) 資金収支計算書について

2017年度資金収入は、2017年度予算比(以下「予算比」という。)12億8,961万円増の402億5,472万円であり、これに前年度繰越支払資金231億8,480万円を加えた収入の部合計は634億3,952万円です。
これに対して資金支出は、予算比22億2,255万円減の446億4,005万円であったので、翌年度繰越支払資金は、予算比35億1,216万円増の187億9,946万円となり、支出の部合計は、634億3,952万円です。

資金収支計算書

[2017年4月 1日から
2018年3月31日まで]

<収入の部> (単位:円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	26,516,618,000	26,779,322,791	△ 262,704,791
手数料収入	1,707,407,000	1,859,929,814	△ 152,522,814
寄付金収入	360,885,000	636,561,928	△ 275,676,928
補助金収入	3,659,601,000	3,478,316,152	181,284,848
資産売却収入	0	1,138,993,588	△ 1,138,993,588
付随事業・収益事業収入	2,211,880,000	1,845,590,500	366,289,500
受取利息・配当金収入	510,900,000	703,282,935	△ 192,382,935
雑収入	1,139,923,000	1,365,833,373	△ 225,910,373
借入金等収入	2,000,000,000	2,088,000,000	△ 88,000,000
前受金収入	5,825,376,000	5,943,871,274	△ 118,495,274
その他の収入	2,167,696,000	1,802,030,611	365,665,389
資金収入調整勘定	△ 7,135,173,000	△ 7,387,012,396	251,839,396
前年度繰越支払資金	23,184,795,000	23,184,795,222	
収入の部合計	62,149,908,000	63,439,515,792	△ 1,289,607,792

東京理科大学、諏訪東京理科大学の学生から納入された学費です。

文部科学省から交付される経常費補助金、研究設備整備費等補助金、大学改革推進等補助金などです。

国などの公的機関・民間企業との受託研究契約・共同研究契約に基づく収入などです。

2017年度は葛飾Ⅱ期土地取得のため、借入しました。

2017年度に納入された2018年度分の学費などです。

2016年度に納入された2017年度学費などです。収入の部から差し引きます。

<支出の部> (単位:円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	17,329,339,000	17,277,555,774	51,783,226
教育研究経費支出	10,262,782,000	9,245,972,508	1,016,809,492
管理経費支出	2,558,516,000	2,871,227,591	△ 312,711,591
借入金等利息支出	307,255,000	307,060,371	194,629
借入金等返済支出	890,880,000	890,880,000	0
施設関係支出	5,483,149,000	4,517,812,265	965,336,735
設備関係支出	1,245,317,000	1,266,542,792	△ 21,225,792
資産運用支出	8,906,484,000	8,650,667,811	255,816,189
その他の支出	2,603,579,000	2,622,840,617	△ 19,261,617
[予 備 費]	(0)		
	300,000,000		300,000,000
資金支出調整勘定	△ 3,024,696,000	△ 3,010,507,388	△ 14,188,612
翌年度繰越支払資金	15,287,303,000	18,799,463,451	△ 3,512,160,451
支出の部合計	62,149,908,000	63,439,515,792	△ 1,289,607,792

教育・研究活動に要する経費です。

法人の管理運営・学生募集に要する経費です。

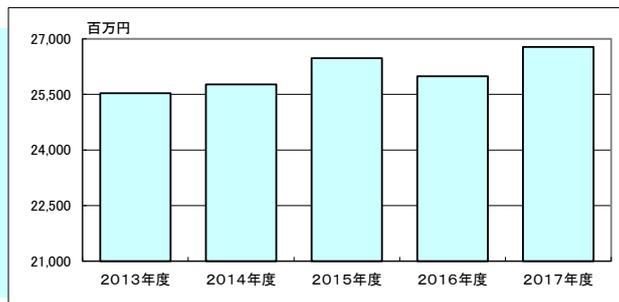
土地、建物(附属設備も含む)、構築物など、施設を取得するための支出です。

2017年度末までに支払が完了しなかった未払金などです。支出の部から差し引きます。

<収入の部>

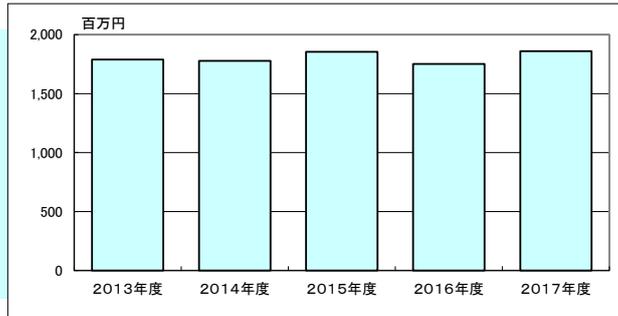
学生生徒等納付金収入(267億7,932万円)は、授業料、入学金、実験実習料、及び施設設備資金です。大学別の内訳は次のとおりです。
東京理科大学 256億1,553万円
諏訪東京理科大学 11億6,379万円

右表は直近5年の学生生徒等納付金収入の推移です。



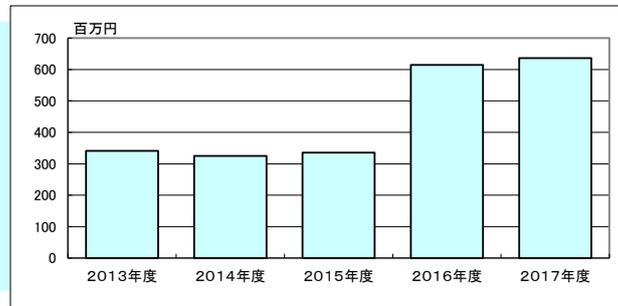
手数料収入(18億5,993万円)は、入学検定料、試験料、証明手数料、及び大学入試センター試験実施手数料です。

右表は直近5年の手数料収入の推移です。



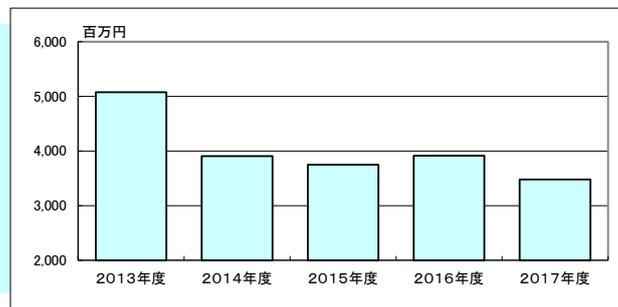
寄付金収入(6億3,656万円)は、企業等からの研究助成金や学生の父母、教職員、卒業生からの寄付金です。

右表は直近5年の寄付金収入の推移です。



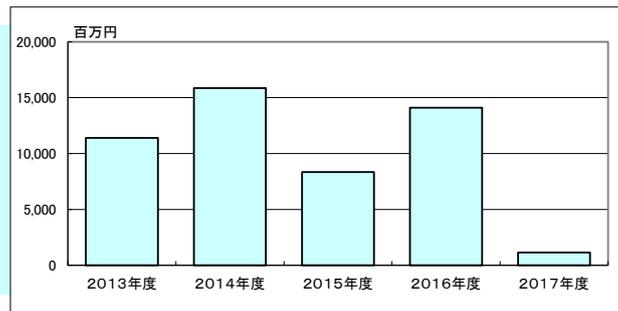
補助金収入(34億7,832万円)は、国庫補助金、地方公共団体補助金、及び学術研究振興資金です。例年、国庫補助金として計上される経常費補助金が大部分を占めています。

右表は直近5年の補助金収入の推移です。



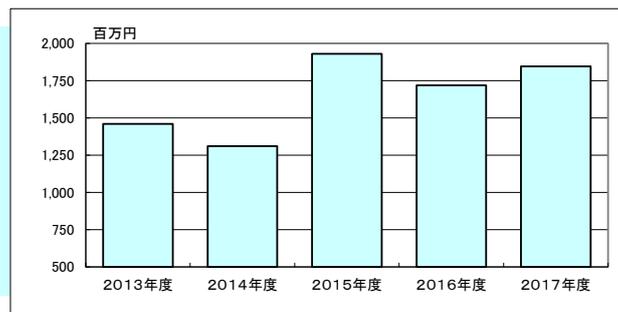
資産売却収入(11億3,899万円)は、不動産及び有価証券の売却収入です。

右表は直近5年の資産売却収入の推移です。2017年度は大きな施設売却もなく、有価証券も長期保有へと切り替えているため、減少しています。



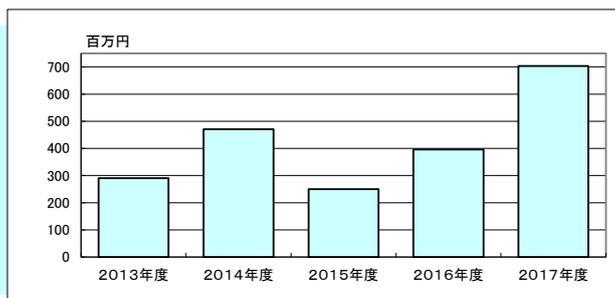
付随事業・収益事業収入(18億4,559万円)は、補助活動収入、受託事業収入、知的財産権実施料等収入、公開講座受講料、免許状更新講習料です。

右表は直近5年の付随事業・収益事業収入の推移です。



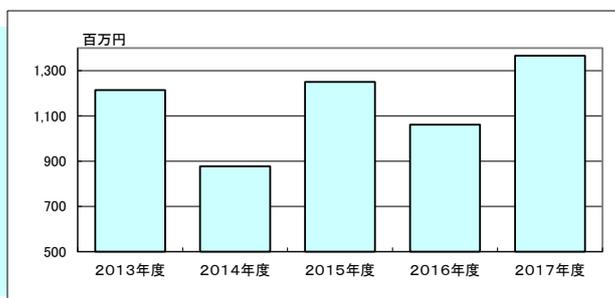
受取利息・配当金収入(7億328万円)は、第3号基本金運用収入、受取利息・配当金収入です。

右表は直近5年の受取利息・配当金収入の推移です。



雑収入(13億6,583万円)は、施設設備利用料、私立大学退職金財団交付金、及びその他の雑収入です。

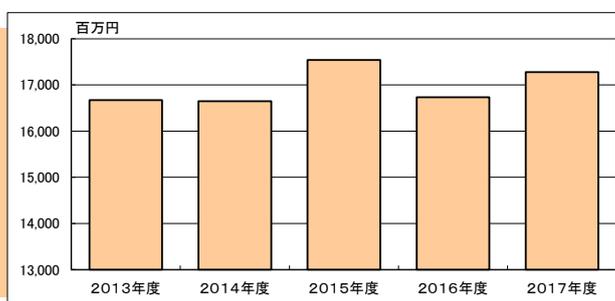
右表は直近5年の雑収入の推移です。私立大学退職金財団交付金は、各年度の退職者数に大きく影響されます。2017年度は諏訪東京理科大学公立法人化による退職者数増に伴い同交付金が増加しています。



<支出の部>

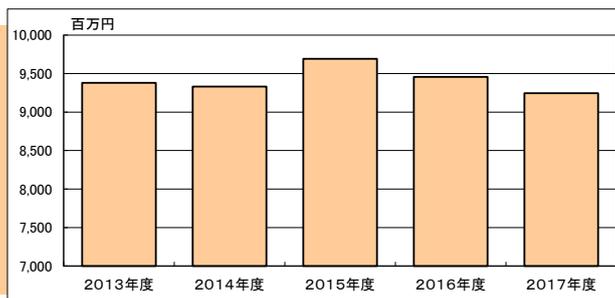
人件費支出(172億7,756万円)は、教員人件費、職員人件費、役員報酬、及び退職金です。

右表は直近5年の人件費支出の推移です。2017年度は諏訪東京理科大学公立法人化に伴い退職金が増加しています。



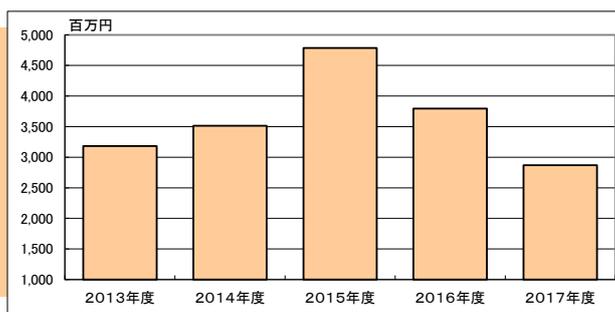
教育研究経費支出(92億4,597万円)は、消耗品費、旅費交通費など教育・研究活動に要する経費です。

右表は直近5年の教育研究経費支出の推移です。



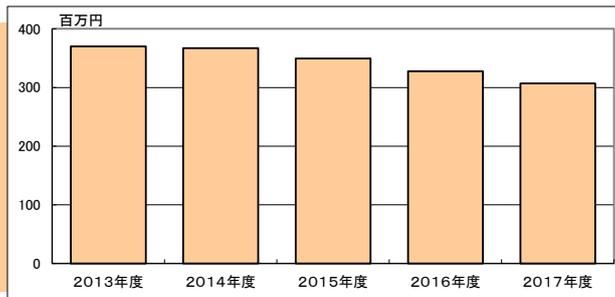
管理経費支出(28億7,123万円)は、法人の管理運営・学生募集活動に要する経費です。

右表は直近5年の管理経費支出の推移です。2015年度は経営学部のキャンパス移転経費などに伴い増加しています。



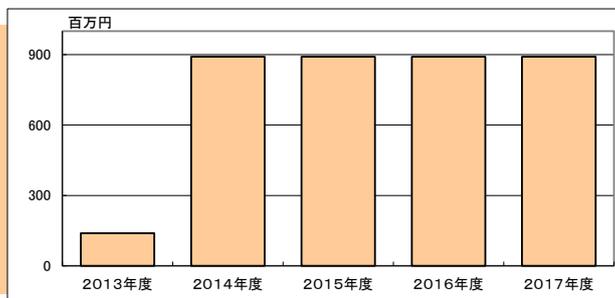
借入金等利息支出(3億706万円)は、銀行や日本私立学校振興・共済事業団からの借入金の利息返済支出です。

右表は直近5年の借入金等利息支出の推移です。



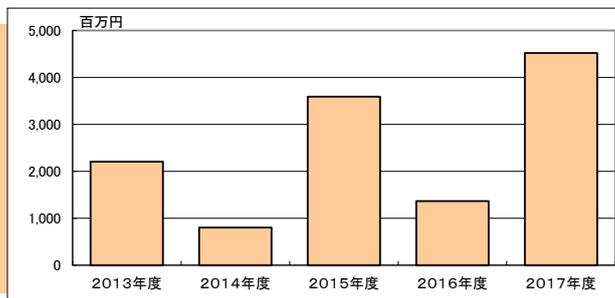
借入金等返済支出(8億9,088万円)は、銀行や日本私立学校振興・共済事業団からの借入金の返済支出です。

右表は直近5年の借入金等返済支出の推移です。2014年度から、葛飾キャンパス開設に係る銀行からの借入金返済が始まったことにより増加しています。



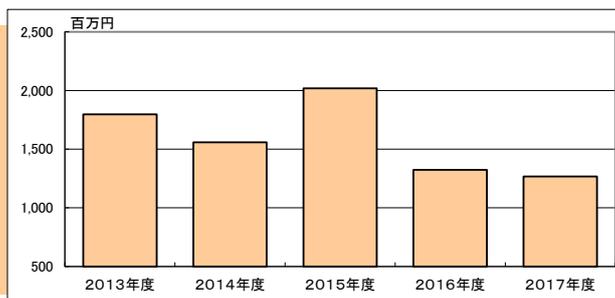
施設関係支出(45億1,781万円)は、土地、建物(附属設備も含む)、構築物など、施設を取得するための支出です。

右表は直近5年の施設関係支出の推移です。2017年度は葛飾Ⅱ期土地取得のため増加しています。



設備関係支出(12億6,654万円)は、備品、図書、車輛など、設備を取得するための支出です。

右表は直近5年の設備関係支出の推移です。2015年度は、神楽坂キャンパス富士見校舎や野田キャンパス3・11号館の改修工事などにより増加しています。



資金収支計算書は、教育研究等の諸活動に要する一年間の資金の収入、支出をみるもので、支出に対応する収入がどのような源泉から調達されているかをみることができます。また、借入金などの負債性のある収入や、固定資産取得に必要な支出、借入金返済などが全体の収支にどのような役割を果たしているかなどもみることができます。



(2) 事業活動収支計算書について

2017年度の事業活動収入計は、予算比4億8,305万円増の370億177万円です。これに対して事業活動支出計は、予算比8億7,840万円減の355億5,995万円であるため、基本金組入前当年度収支差額は14億4,182万円の収入超過となります。ここから基本金組入額合計26億8,241万円を差し引くと、当年度収支差額は12億4,059万円の支出超過となります。

この結果、2016年度からの繰越収支差額(支出超過額)100億6,812万円を加えると、2018年度への繰越収支差額(支出超過額)は113億871万円となります。

事業活動収支計算書

〔 2017年4月 1日から
2018年3月31日まで 〕

(単位:円)

科目		予算	決算	差異	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	26,516,618,000	26,779,322,791	△ 262,704,791
		手数料	1,707,407,000	1,859,929,814	△ 152,522,814
		寄付金	298,985,000	477,445,282	△ 178,460,282
		経常費等補助金	3,595,493,000	3,113,555,781	481,937,219
		付随事業収入	2,211,880,000	1,845,590,500	366,289,500
		雑収入	1,139,923,000	1,376,580,199	△ 236,657,199
		教育活動収入計	35,470,306,000	35,452,424,367	17,881,633
	事業活動支出の部	人件費	17,045,088,000	17,224,049,993	△ 178,961,993
		教育研究経費	15,400,885,000	14,236,206,395	1,164,678,605
		管理経費	3,234,227,000	3,450,479,740	△ 216,252,740
		徴収不能額等	0	1,150,000	△ 1,150,000
		教育活動支出計	35,680,200,000	34,911,886,128	768,313,872
教育活動収支差額		△ 209,894,000	540,538,239	△ 750,432,239	
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	510,900,000	703,282,935	△ 192,382,935
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	510,900,000	703,282,935	△ 192,382,935
	事業活動支出の部	借入金等利息	307,255,000	307,060,371	194,629
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	307,255,000	307,060,371	194,629
教育活動外収支差額	203,645,000	396,222,564	△ 192,577,564		
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0	24,773,656	△ 24,773,656
		その他の特別収入	537,508,000	821,287,732	△ 283,779,732
		特別収入計	537,508,000	846,061,388	△ 308,553,388
	事業活動支出の部	資産処分差額	150,895,000	334,393,238	△ 183,498,238
		その他の特別支出	0	6,605,535	△ 6,605,535
		特別支出計	150,895,000	340,998,773	△ 190,103,773
特別収支差額	386,613,000	505,062,615	△ 118,449,615		
(予備費)	300,000,000		300,000,000		
基本金組入前当年度収支差額	80,364,000	1,441,823,418	△ 1,361,459,418		
基本金組入額合計	△ 3,965,955,000	△ 2,682,409,633	△ 1,283,545,367		
当年度収支差額	△ 3,885,591,000	△ 1,240,586,215	△ 2,645,004,785		
前年度繰越収支差額	△ 10,068,121,000	△ 10,068,120,944	△ 56		
翌年度繰越収支差額	△ 13,953,712,000	△ 11,308,707,159	△ 2,645,004,841		
事業活動収入計	36,518,714,000	37,001,768,690	△ 483,054,690		
事業活動支出計	36,438,350,000	35,559,945,272	878,404,728		

人件費:教職員の退職金に備えるための退職給付引当金への当年度繰入額が含まれます。

教育研究経費:減価償却額が含まれます。

管理経費:減価償却額が含まれます。

徴収不能額等:奨学金貸付金などで徴収不能になったもの及び徴収不能になる可能性が高いものです。

教育活動収支:経常的な収支の内、教育活動に関わる収支を表します。

教育活動外収支:経常的な収支の内、教育活動以外の収支を表します。

経常収支:事業活動収支から臨時的な収支(特別収支)を除いたものです。

資産売却差額:資産を売却した際の簿価との差額です。(売却額>簿価)

その他の特別収入:施設設備拡充等のための寄付金、補助金、および現物寄付などです。

資産処分差額:資産を廃棄除却した際の簿価との差額です。(処分額<簿価)

特別収支:臨時的な収支を表します。

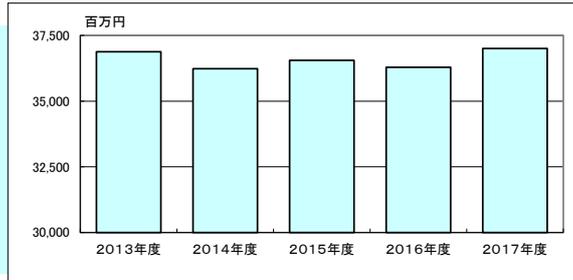
基本金組入前当年度収支差額:事業活動収入の合計から事業活動支出の合計を差し引いた額です。

基本金組入額合計:学校法人が教育研究活動等の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持するべきものとして、事業活動収入から組入れた金額のことです。

<事業活動収入>

事業活動収入(370億177万円)は、学校法人の負債とならない収入で、学生生徒等納付金、手数料、寄付金、経常費等補助金、付随事業収入、受取利息・配当金収入などです。

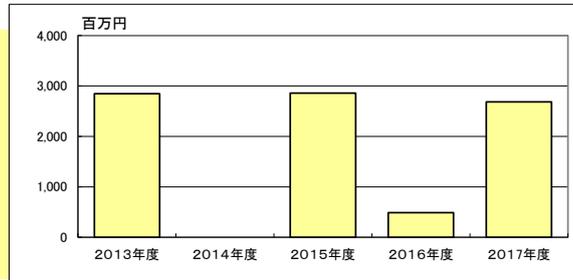
右表は直近5年の事業活動収入(2013～2014年度は帰属収入)の推移です。



<基本金組入額>

基本金組入額(26億8,241万円)は、学校法人が教育研究活動等の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして事業活動収入から組入れた金額のことです。

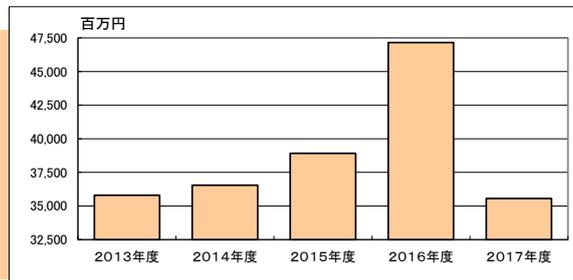
右表は直近5年の基本金組入額の推移です。
2014年度は東伊豆研修保養所、館山研修所等の売却により、除却・売却高が組入高を上回ったため、0円になりました。
2016年度は、第4号基本金の増加額となります。
2017年度は野田キャンパスの再構築などにより第1号基本金が増加しています。



<事業活動支出>

事業活動支出(355億5,995万円)は、教育研究その他の諸活動に対応した費用の支出を示したもので、人件費、教育研究経費、管理経費などです。

右表は直近5年の事業活動支出(2013～2014年度は消費支出)の推移です。
2016年度は山口東京理科大学の公立法人化などにより資産処分差額が多く発生したため増加しています。



事業活動収支計算書は、毎年度の経営状況を示すものであり、学校法人会計基準の改正によって2015年度から「消費収支計算書」より様式が変更されたものです。収支を「経常的なもの」と「臨時的なもの」に区分、さらに経常的な支出を「教育活動」と「教育活動外」に区分し、事業活動別の収支のバランスをみることができます。



(3)貸借対照表について

2017年度末の資産総額は、前年度末比29億9,825万円増の1,761億584万円です。また、負債総額は、前年度末比15億5,643万円増の321億2,153万円です。

資産の部は、固定資産が前年度末比69億543万円増の1,557億9,852万円であり、流動資産が前年度末比39億717万円減の203億731万円です。その結果、固定資産構成比率は88.5%であり、流動資産構成比率は11.5%です。

負債の部は、長期借入金が前年度末比4億8,832万円増の163億800万円です。その結果、固定負債は前年度末比4億3,144万円増の209億5,655万円となり、固定負債構成比率は11.9%です。また、流動負債は前年度末比11億2,499万円増の111億6,498万円であり、流動負債構成比率は6.3%です。

純資産の部は、基本金が前年度末比26億8,241万円増の1,552億9,301万円であり、このほかに未組入額が183億8,726万円あります。翌年度繰越収支差額は前年度末比12億4,059万円減、113億871万円の支出超過となります。

貸借対照表

2018年3月31日

(単位:円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	155,798,522,442	148,893,097,057	6,905,425,385
有形固定資産	115,650,617,717	115,535,805,391	114,812,326
特定資産	14,140,797,720	13,942,213,501	198,584,219
その他の固定資産	26,007,107,005	19,415,078,165	6,592,028,840
流動資産	20,307,314,221	24,214,484,609	△ 3,907,170,388
資産の部合計	176,105,836,663	173,107,581,666	2,998,254,997
固定負債	20,956,550,058	20,525,105,687	431,444,371
流動負債	11,164,984,130	10,039,996,922	1,124,987,208
負債の部合計	32,121,534,188	30,565,102,609	1,556,431,579
基本金	155,293,009,634	152,610,600,001	2,682,409,633
第1号基本金	152,596,009,634	149,913,600,001	2,682,409,633
第3号基本金	100,000,000	100,000,000	0
第4号基本金	2,597,000,000	2,597,000,000	0
翌年度繰越収支差額	△ 11,308,707,159	△ 10,068,120,944	△ 1,240,586,215
純資産の部合計	143,984,302,475	142,542,479,057	1,441,823,418
負債及び純資産の部合計	176,105,836,663	173,107,581,666	2,998,254,997

貸借対照表は、年度末における資産、負債、純資産（基本金および繰越収支差額）の状態を表示し、年度末時点での財政状態を表す重要な財務資料です。

